

第2 30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	15	-3	1.00	137	-4	1.00
	30日死者	3	+1	0.20	30	-1	0.22
	30日以内死者	18	-2	1.20	167	-5	1.22

○ 全国

死者	区分	10月中		10月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	338	-5	1.00	2,796	-145	1.00
	30日死者	52	-22	0.15	468	-110	0.17
	30日以内死者	390	-27	1.15	3,264	-255	1.17

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は30人（-1人）、「24時間死者」は137人（-4人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は167人（-5人）であり、「24時間死者」の1.22倍となっている。

(3) 特徴（30日死者の構成率）

○ 地区別 神戸11人（36.7%）、阪神9人（30.0%）、東播6人（20.0%）、高速2人（6.7%）、西播1人（3.3%）、淡路1人（3.3%）、但馬0人（0.0%）の順で発生している。

○ 状態別 自転車乗中10人（33.3%）、歩行中8人（26.7%）、自動車乗車中6人（20.0%）、自動二輪乗車中3人（10.0%）、原付乗車中3人（10.0%）の順で発生している。

○ 年齢層別 65歳以上が23人（76.7%）、25～64歳が5人（16.7%）、16～24歳が1人（3.3%）、15歳以下が1人（3.3%）の順で発生している。

○ 経過日数別 10日以内の死亡が21人（70.0%）の順で発生している。

○ 損傷部位別 頭部の損傷が20人で、66.7%の順で発生している。